

森林資源生産学特論実験 (2単位)

担当者氏名 上原 巍・今富裕樹・菅原 泉・矢部和弘・田中 恵

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

本特論実験では、森林の育成と森林生産物の搬出に関する各実験、調査の指導を行なう。各自の研究分野の専門性に対応しながら、森林および森林資源に関する研究課題に対応できる能力を修得し、各自の研究テーマにおける特別演習を行う。実習・演習は7号館実験室、奥多摩演習林、その他の地域の森林などを利用し、テーマ設定、調査手法、各実験・測定分析機器の操作法、データの解析、統計処理等について習熟していく。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

造林学	林業工学	森林資源	調査
実験	測定	データ	解析

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	森林生産の技術 (第1~5週)	(1) 森林の立地環境の把握・分析方法 (2) 林木の成育特性の把握・分析方法 (3) 人工更新技術 (4) 天然更新技術 (5) 森林生産技術における課題	テーマ1、2は上原・菅原・田中が担当する。 テーマ3、4、5は今富、矢部が担当する。 テーマ6は、上原と今富が協同で担当する。 なお、受講する院生は、本特論実験を通して、各自の研究課題の達成のために必要な調査設定、調査手法、各実験・測定分析機器の操作、データの解析、統計処理等の習熟に努めること。
2	森林の育成と保育技術(第6~7週)	(1) 林木特性、森林生態系を考慮した保育技術 (2) 持続的管理のための造林技術	
3	林道・作業道の施工技術 (第8~9週)	(1) 林道・作業道の配置法 (2) 林道・作業道の施工技術	
4	伐採搬出技術と機械システムの最適化	(1) G I Sなどを用いた伐採搬出技術の検討 (2) 森林機械システムのコスト分析	
5	作業強度と労働災害 (第13~14週)	(1) 労働科学的手法による作業負担分析 (2) 振動・騒音解析、FTA分析などの災害分析	
6	森林資源生産のシステム (第15週)	更新から搬出までの森林資源生産技術の最適化	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

指導教授により、適宜、周知する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

指導教授により、適宜、周知する。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

修士論文の作成状況を考慮し、評価する。

◆オフィスアワー

毎週金曜日の16時以降、各研究室で質問等を受け付ける

◆その他受講上の注意事項

実験・実習においては、安全に留意し、的確な調査設定を行い、正確な調査実験のもとで精度の高い結果を得ることができるように、心掛けること。